

### 〈編集後記〉

近年の気候変動は著しい。毎年のように「今年の気象は異常なほど…」と聞くが、2007年の秋は格別であった。本当に秋はなかなかやって来なかった。9月に秋学期が始まり、陽はどんどん短くなるというのに、10月もしばらく半袖で過ごす日々だった。もうすぐ11月になってしまうのではないかと焦ってしまうほど秋らしくならない。

しかし、11月に入ると、さすがに秋はやってきた。暦に追い立てられることもなく、悠々とした足並みで。キャンパスから望む山肌が見事に色づいたと思えば、そろそろ師走である。秋は急速に深まり、あっという間に暦に追いつき追い越してしまった。インフルエンザによる学級閉鎖は、例年にない早さである。年が明ければ、まもなく試験期間である。学生諸君は体調管理に留意されたい。

さて、暮れゆく2007年は、みなさんにとってどんな1年だったのだろうか。卒論や就活に忙しい1年、部活に没頭した1年、新しい恋が始まった1年…。今年の「私的」三大ニュースを考えつつ一年を総括して、来年はどんな年になるのか思い巡らせるのも年末の楽しみである。「一年の計は元旦にあり」というが、ITによりスピード化、多様化した現代では、もうそろそろ来年の計画を立てておきたいものだ。

語学教育スタッフの一人として、来年は、愛大生の外国語に対する興味、関心、学習意欲がより一層高まることを期待したい。初夢としては、コンテストの出場者が溢れてくじ引きになったとか、奨励金が追いつかないほど大量の検定合格者が出て教員が嬉し泣きでカンパしたとか、そんなニュースが語研ニュースに載ったら面白いですね。ともあれ、より一層役立つ語研ニュースであるように努めたい。また、地震被害が出ないこと、本誌の海外事情で激しい気候変動による災害の話題が出ないことを祈って、2007年の幕を引きたい。